

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に助成事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

組織・グループ名	かわさき wai (ワイ) の会
活動区分 ※いずれか1つに○をつける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 一般助成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 当事者支え合い・当事者支援の促進</li> <li>② 地域福祉ニーズ(課題)への対応</li> <li>③ 福祉の学び(参加型福祉教育)の推進</li> <li>④ 福祉コミュニティの構築]</li> </ul> </li> <li>● 協働事業助成                             <ul style="list-style-type: none"> <li>[ 1. 福祉教育・ボランティア学習プログラム構築に係る先駆的な活動</li> <li>2. 地域住民、関係機関・団体の福祉意識の醸成を基盤とし、幅広い世代の社会参加推進に係る先駆的な活動 ]</li> </ul> </li> </ul>

助成事業名	認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会
-------	----------------------

助成事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入すること。

### 「認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会」とは

平成28年10月に川崎市主催の「認知症あんしん生活実践塾」で学習を終えた認知症の家族を持つ有志が会を立上げ、講師を招いて認知症介護の勉強会を行っています。4つのケアを学び実践することにより認知症の症状を軽くし、それにより認知症の本人が自立性を取り戻し、また介護する家族の負担を軽減することができます。またその実践を介護する仲間や地域に伝えることも目的としています。



### 2020年度の活動

「認知症の症状を軽くする4つのケアの講習会」では、4つのケア(水分・栄養・運動・便通)に関して先生方による講義、事例検討と介護指導、認知症介護に関する情報交換を行ってきました。

※新型コロナ感染拡大に伴い年度初めの定例会は延期、オンライン会議に切替え開催

7/23 オンライン会議 [参加者6名]  
事例検討、他 国際医療福祉大学大学院 准教授 小平めぐみ先生

9/9 会場とオンライン会議 [参加者17名]  
講義「コロナ新しい生活様式と認知症ケア」  
国際医療福祉大学大学院特任教授 竹内孝仁先生  
事例検討、他 小平めぐみ先生

11/6 会場とオンライン会議 [参加者18名]  
講義「排泄のメカニズム」、事例検討、他 小平めぐみ先生  
専門領域講義「オムツについて」白十字(株)高橋容子先生

1/11 オンライン会議 [参加者9名]  
講義「コロナ禍の介護」、事例検討、他 小平めぐみ先生

3/25 会場とオンライン会議 [参加者16名]  
専門領域講義「川崎市あんしん塾調査結果と認知症教室について」  
白梅学園大学 午頭潤子先生 事例検討、他 小平めぐみ先生



### 今後について

引続き当年度と同様に継続していきます。当初計画の「介護や仕事で忙しく会に参加できない方向けに、自宅にいても学べる仕組み」はコロナ禍により先行し、オンライン開催が実現しました。今年度実施できなかった「公開講座の開催」や、会の広報や会員を増やすための「会のホームページ充実」などに取組む予定です。